

日本赤十字社愛知医療センター名古屋第二病院

2014-2015年 5年生存率

胃がん(胃癌)

	対象数	生存状況把握割合(%)	実測生存率	平均年齢(歳)
全体	432	97.0	54.4	71.5
I期	225	96.9	78.8	71.0
II期	39	92.3	61.6	71.5
III期	62	96.8	45.7	70.9
IV期	95	98.9	5.3	72.3

大腸がん(大腸癌)

	対象数	生存状況把握割合(%)	実測生存率	平均年齢(歳)
全体	534	97.2	66.5	69.8
I期	138	96.4	86.9	70.9
II期	137	97.8	84.5	70.2
III期	136	97.8	72.5	67.5
IV期	107	98.1	17.4	69.0

肝細胞がん(肝細胞癌)

	対象数	生存状況把握割合(%)	実測生存率	平均年齢(歳)
全体	90	97.8	24.9	71.3
I期	41	97.6	36.2	72.3
II期	17	-	-	-
III期	18	-	-	-
IV期	10	-	-	-

非小細胞肺がん(非小細胞肺癌)

	対象数	生存状況把握割合(%)	実測生存率	平均年齢(歳)
全体	361	97.8	42.3	70.8
I期	148	98.0	72.8	72.0
II期	27	-	-	-
III期	54	98.1	40.1	69.6
IV期	122	97.5	5.9	69.5

女性乳がん(女性乳癌)

	対象数	生存状況把握割合(%)	実測生存率	平均年齢(歳)
全体	261	96.2	85.6	61.2
I期	113	94.7	92.7	61.0
II期	103	97.1	92.1	60.5
III期	25	-	-	-
IV期	13	-	-	-

(国立がん研究センターがん対策研究所がん登録センター院内がん登録分析室による集計)

用語の説明

生存状況把握割合

生存率を推定するためには、がんと診断されてから3年、5年後の患者さんの生死状況を把握する必要があります。この生死状況が確認できている割合が生存状況把握割合です。一般に、生存状況把握割合が低いと生存率は本当の値よりも高く計算されることが知られています。

実測生存率

死因に関係なく、すべての死亡を計算に含めた生存率。がん以外の死因による死亡も含まれます。